



第 373 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：ゼブラフィッシュを用いた環境毒素の作用組織
と毒性メカニズムの研究

演者：工藤 哲大 先生

(Exeter 大学 Biosciences 部門、英国)

日時：2013年7月26日 (金) 17:00-18:30

会場：医学学群 4A 棟 4 階 411 室

要旨：

現代の自然環境は、環境ホルモン、重金属など様々な環境毒素によって汚染され、人間を含むすべての生物に影響を及ぼすことが懸念されている。しかし、これらの多くの物質が生物体内に蓄積し、組織特異的に作用するメカニズムはあきらかではない。現在われわれは、遺伝子組み換えを用いたバイオセンサーゼブラフィッシュ胚を用いて、これらの環境毒素の作用メカニズムを研究しており、その中から、女性ホルモン様の作用を持つ環境ホルモンと、銀のナノパーティクルの毒性メカニズムの研究を紹介したい。

参考文献

1. Osborne et al. (2012) Effects of particle size and coating on nanoscale Ag and TiO₂ exposure in zebrafish (*Danio rerio*) embryos. *Nanotoxicology* [Epub ahead of print].
2. Lee et al. (2012) Biosensor zebrafish provide new insights into potential health effects of environmental estrogens. *Environ Health Perspect.* 120: 990-996.
3. 工藤研 HP : <http://kudohlab.com/>

本セミナーは、人間総合科学研究科「医学セミナー」の単位に換算されます。

また TSMC セミナーは、医科学セミナーII に関連したセミナー（世話人：久武 幸司）でもあります。

連絡先： 筑波大学医学医療系 小林 麻己人（内線 8457、makobayash@md.tsukuba.ac.jp）

【筑波分子医学協会（TSMC）主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMC セミナー担当 筑波大学医学医療系 船越 祐司